

令和元年度 第2回住吉区区民意識調査  
調査結果報告書

令和2年3月

大阪市住吉区役所

# 目 次

## I 調査の概要

1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 調査方法.....	1
5. 調査結果の表示方法.....	1

## II 調査結果

1. 回答者属性 .....	2
2. 防災について.....	3
3. 地域活動について.....	11
4. 地域福祉について.....	14
5. 健康について.....	16
6. 子育て及び虐待防止に関する施策について.....	21
7. 徳育について.....	25
8. 区政運営について.....	26

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「声なき声」など把握しにくいものも含めた多様な区民ニーズや意見・評価を把握し、様々な関連情報を合わせて調査結果の分析・課題抽出を行い、区の施策や事業に反映させるなど、今後の区政運営に活用することを目的とする。

## 2 調査対象

大阪市住吉区にお住いの18歳以上の男女400サンプル以上

## 3 調査期間

令和2年2月12日（水）～2月18日（火）

## 4 調査方法

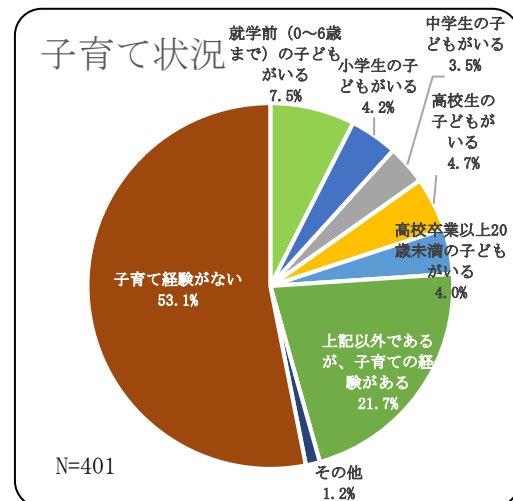
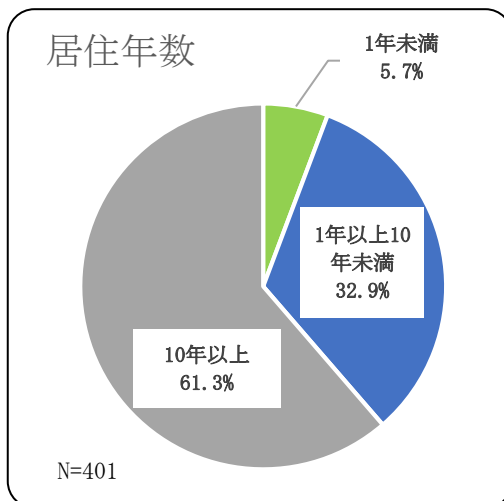
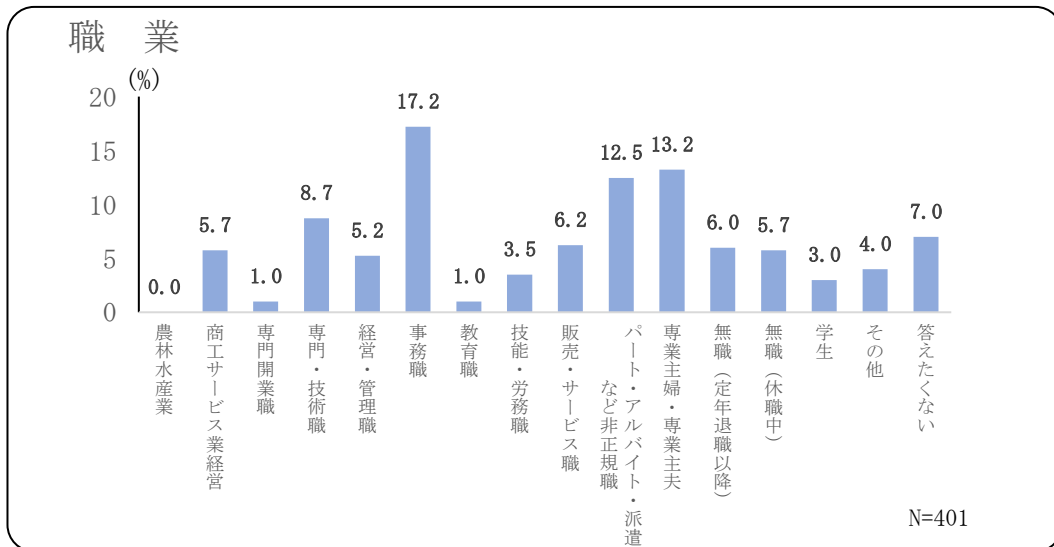
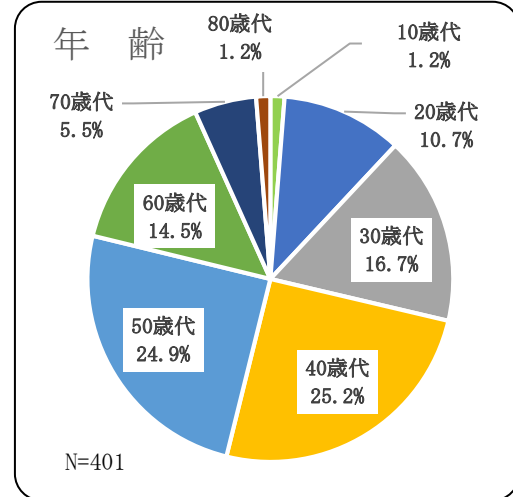
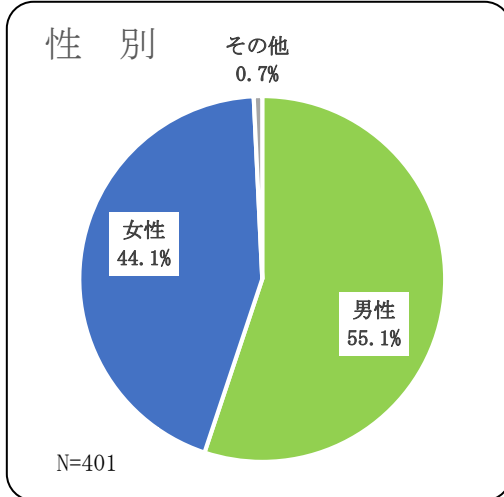
インターネット・リサーチ・モニターを対象としたWebアンケート

## 5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

## II 調査結果

### 1 回答者属性



## 2 防災について

Q1 住吉区役所では、平成 26 年度より災害時に支援が必要な方に登録いただき、地域内で声掛けを行うことで、普段から顔が見える関係、災害時に助け合える関係づくりを進めています。

また、平成 28 年度からは地域と連携し、住吉区内の全災害時避難所（37 か所）を一斉に開設しての「住吉区総合防災訓練」を実施しています。平成 29 年度、30 年度は各町会エリアにおける一時避難場所（※1）での訓練を重視した訓練、令和元年度は災害時避難所（※2）における開設運営を重視した訓練を実施しました。

さらに、町会の一時避難場所や水害時避難ビルの備蓄物資を充実し、マンション防災訓練を実施する等、地域防災力の向上に取り組んでいます。

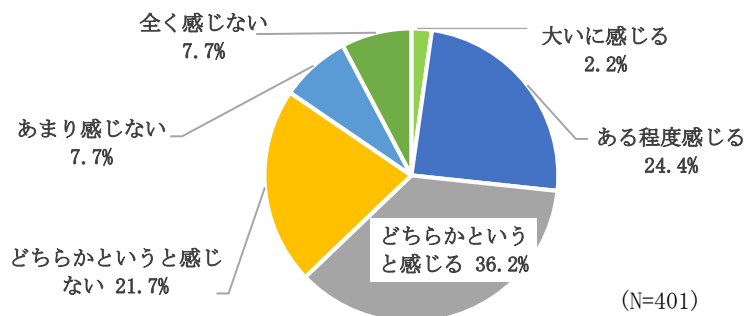
あなたは、住吉区が災害に対して安全なまちと感じますか。（択一回答）

※1 一時避難場所…地震等の一時的な避難場所で、公園や広場、学校の運動場など。

※2 災害避難場所…浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった市民が避難生活を送る施設で、学校の体育館など。

住吉区が災害に対して安全なまちと「感じる」と回答した区民の割合は 62.8%、「感じない」と回答した区民の割合は 37.2%となっています。

年代別に見ると、若い年代ほど「感じない」と回答した割合が高くなっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	2.2	2.3	2.3	-	2.6	2.0	2.4
ある程度感じる	24.4	23.1	26.0	33.3	25.2	20.4	32.9
どちらかというと感じる	36.2	35.3	37.3	33.3	31.3	41.3	30.6
どちらかというと感じない	21.7	24.0	19.2	-	21.7	22.9	18.8
あまり感じない	7.7	7.7	7.9	-	8.7	7.5	7.1
全く感じない	7.7	7.7	7.3	33.3	10.4	6.0	8.2

感じる 計	62.8	60.6	65.5	66.6	59.1	63.7	65.9
感じない 計	37.2	39.4	34.5	33.3	40.9	36.3	34.1

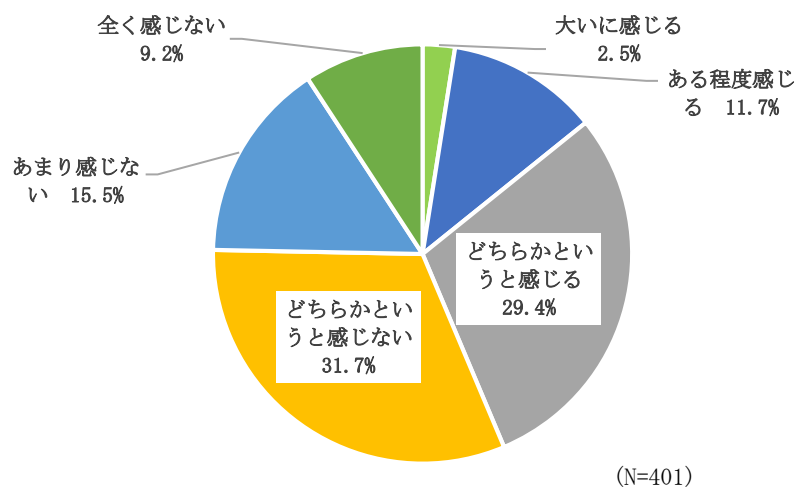
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。

Q2 住吉区役所では、「住吉区総合防災訓練」のほか、住吉消防署と連携した初期消火訓練や防災リーダーの育成研修、また各地域ごとや団体、小学校での防災訓練・講座等を行っています。

あなたは、ここ1、2年、お住まいの地域（概ね小学校区を単位とするエリア）の防災力が向上したと感じますか。（択一回答）

ここ1、2年、お住まいの地域の防災力が向上したと「感じる」と回答した区民の割合は43.6%、「感じない」と回答した区民の割合が56.4%となっています。

年代別に見ると、40・50歳代の「感じない」と回答した割合が高く、58.2%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	2.5	2.7	2.3	-	4.3	1.5	2.4
ある程度感じる	11.7	9.0	14.7	33.3	13.9	9.5	14.1
どちらかというと感じる	29.4	28.5	30.5	33.3	26.1	30.8	30.6
どちらかというと感じない	31.7	35.7	27.1	-	26.1	34.8	31.8
あまり感じない	15.5	15.4	15.8	-	15.7	16.9	11.8
全く感じない	9.2	8.6	9.6	33.3	13.9	6.5	9.4
感じる 計	43.6	40.3	47.5	66.6	44.3	41.8	47.1
感じない 計	56.4	59.7	52.5	33.3	55.7	58.2	52.9

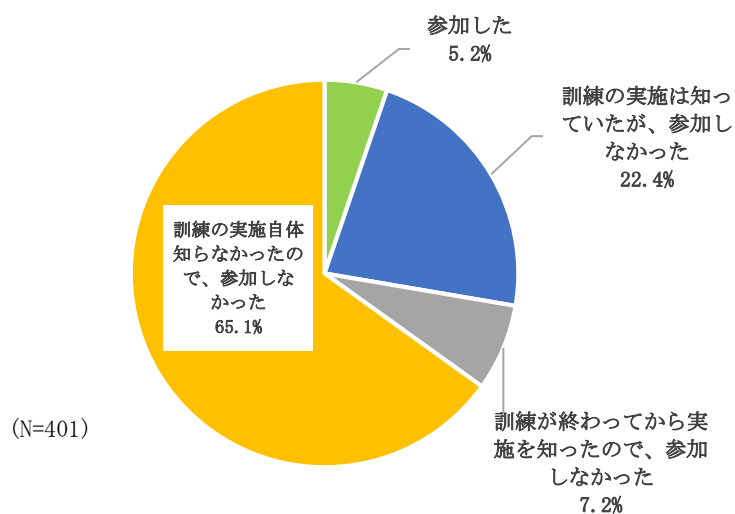
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q3 住吉区役所では、平成28年度より年1回、区内全地域、住吉区役所全職員、各関係機関等が参加し、「住吉区総合防災訓練」を行っています。

あなたは、令和元年11月9日に開催した住吉区総合防災訓練に参加されましたか。(択一回答)

「住吉区総合防災訓練」について、「訓練の実施自体知らなかったので、参加しなかった」と回答した区民の割合が最も高く、65.1%となっています。次いで「訓練の実施は知っていたが、参加しなかった」が22.4%となっています。

年代が若いほど、「訓練の実施自体知らなかったので、参加しなかった」と回答した割合が高くなっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
参加した	5.2	5.0	5.6	-	4.3	2.5	12.9
訓練の実施は知っていたが、参加しなかった	22.4	19.5	26.0	33.3	17.4	21.4	31.8
訓練が終わってから実施を知ったので、参加しなかった	7.2	7.7	6.8	-	7.0	21.4	5.9
訓練の実施自体知らなかったので、参加しなかった	65.1	67.9	61.6	66.7	71.3	68.2	49.4

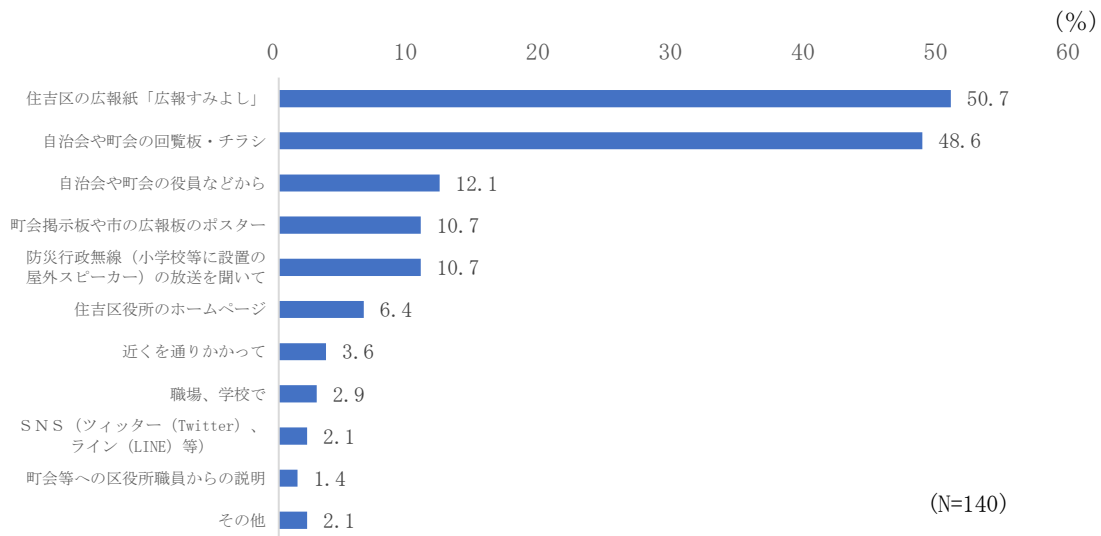
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q4 Q3で選択肢「参加した」、「訓練の実施は知っていたが、参加しなかった」、または「訓練が終わってから実施を知ったので、参加しなかった」を選択した方にお聞きします。

あなたは、「住吉区総合防災訓練」について、何で知りましたか。(複数回答可)

「住吉区総合防災訓練」の実施について、「住吉区の広報紙（広報すみよし）」で知ったと回答した区民の割合が最も高く、50.7%となっています。次いで「自治会や町会の回覧板・チラシ」が48.6%となっています。

60歳代以上は「住吉区の広報紙（広報すみよし）」、「自治会や町会の回覧板・チラシ」で知ったと回答した割合がそれぞれ6割を超えています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	140	71	68	1	33	64	43
住吉区の広報紙「広報すみよし」	50.7	53.5	47.1	100.0	48.5	45.3	60.5
自治会や町会の回覧板・チラシ	48.6	52.1	45.6	-	45.5	40.6	62.8
自治会や町会の役員などから	12.1	12.7	11.8	-	12.1	10.9	14.0
町会掲示板や市の広報板のポスター	10.7	15.5	5.9	-	3.0	15.6	9.3
防災行政無線（小学校等に設置の屋外スピーカー）の放送を聞いて	10.7	12.7	8.8	-	3.0	17.2	7.0
住吉区役所のホームページ	6.4	7.0	5.9	-	9.1	4.7	7.0
近くを通りかかって	3.6	2.8	4.4	-	12.1	1.6	-
職場、学校で	2.9	1.4	4.4	-	9.1	1.6	-
SNS（ツイッター（Twitter）、ライン（LINE）等）	2.1	1.4	2.9	-	9.1	-	-
町会等への区役所職員からの説明	1.4	1.4	1.5	-	-	1.6	2.3
その他	2.1	2.8	1.5	-	6.1	1.6	-

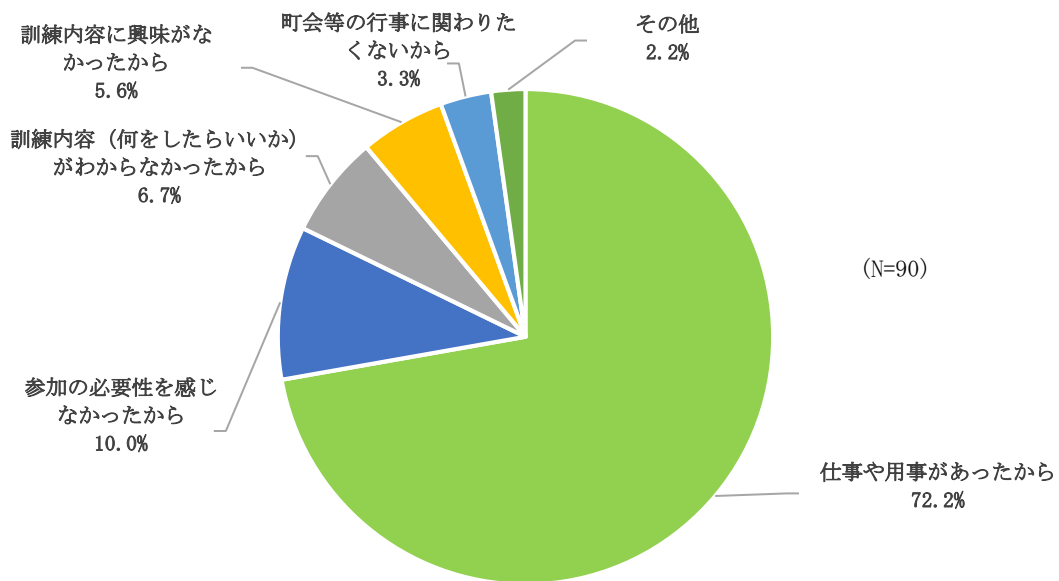
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。



Q5 Q3で選択肢「訓練の実施は知っていたが、参加しなかった」を選択した方にお聞きします。  
その理由をお聞かせください。(択一回答)

「住吉区総合防災訓練」の実施は知っていたが、参加しなかった理由について、「仕事や用事があったから」と回答した区民の割合が最も高く、72.2%と全体の3/4近くを占めています。

年代別に見ても、ほぼ同様の傾向となっています。



単位：%

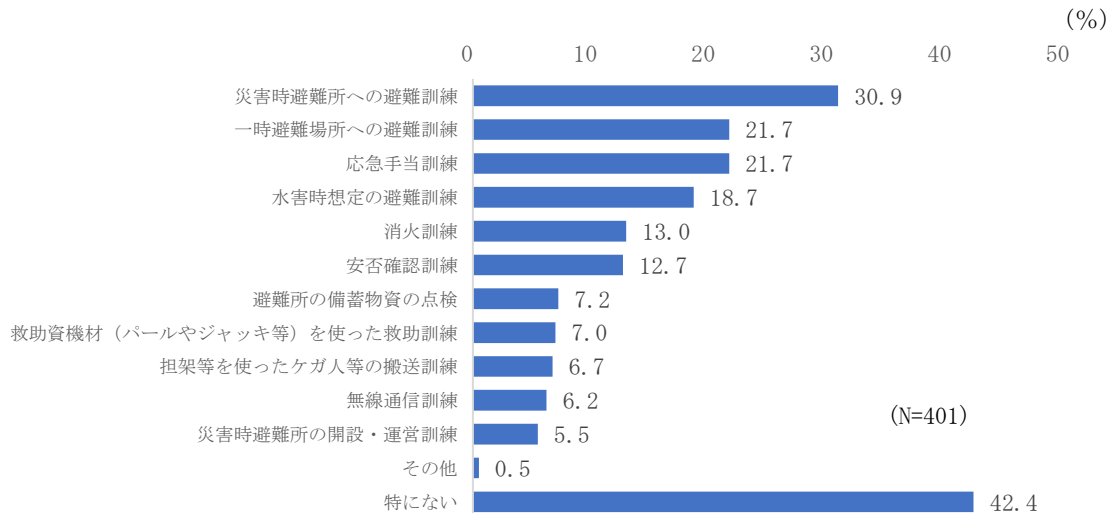
区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	90	43	46	1	20	43	27
仕事や用事があったから	72.2	62.8	80.4	100.0	75.0	69.8	74.1
参加の必要性を感じなかったから	10.0	14.0	6.5	-	10.0	14.0	3.7
訓練内容(何をしたらいいか)がわからなかったから	6.7	7.0	6.5	-	5.0	7.0	7.4
訓練内容に興味がなかったから	5.6	11.6	-	-	-	7.0	7.4
町会等の行事に関わりたくないから	3.3	2.3	4.3	-	5.0	-	7.4
その他	2.2	2.3	2.2	-	5.0	2.3	-

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q6 「住吉区総合防災訓練」では、各町会エリアにおける一時避難場所での安否確認訓練や、災害時避難所への避難訓練、災害時避難所の開設運営訓練を主として行ってきました。

あなたは、どのような防災訓練に参加されたいですか。(複数回答可)

参加したい防災訓練について、「災害時避難所への避難訓練」と回答した区民の割合が最も高く、30.9%となっています。次いで「一時避難場所への避難訓練」と「応急手当訓練」が同率で21.7%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数 (件)	401	221	177	3	115	201	85
災害時避難所への避難訓練	30.9	29.4	32.8	33.3	34.8	28.9	30.6
一時避難場所への避難訓練	21.7	19.5	24.3	33.3	23.5	19.9	23.5
応急手当訓練	21.7	17.6	27.1	-	25.2	18.9	23.5
水害時想定避難訓練	18.7	19.0	18.1	33.3	21.7	18.4	15.3
消火訓練	13.0	12.2	14.1	-	13.0	12.4	14.1
安否確認訓練	12.7	13.1	12.4	-	12.2	11.9	15.3
避難所の備蓄物資の点検	7.2	5.4	9.0	33.3	7.0	6.5	9.4
救助資機材 (パールやジャッキ等) を使った救助訓練	7.0	8.1	5.6	-	5.2	9.0	4.7
担架等を使ったケガ人等の搬送訓練	6.7	7.2	6.2	-	7.0	5.0	10.6
無線通信訓練	6.2	6.8	5.6	-	4.3	6.0	9.4
災害時避難所の開設・運営訓練	5.5	5.4	5.6	-	7.8	3.5	7.1
その他	0.5	0.5	0.6	-	-	1.0	-
特になし	42.4	43.4	41.2	33.3	38.3	47.3	36.5

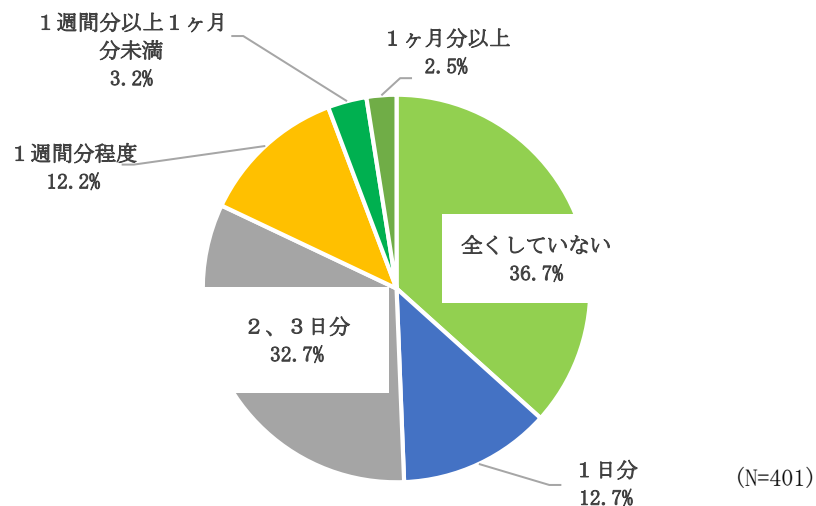
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q7 住吉区役所では、37箇所の災害時避難所に300食（100人×3回分）の食糧や、水、毛布などの他、避難所生活において支援が必要な方のための要支援者表示バンドナ等を備蓄していますが、各家庭で最低3日分、できれば1週間分の食糧や水等を備蓄することが大切です。

あなたは、災害時に備えて、どの程度の水や食糧を備蓄されていますか。（択一回答）

災害時に備えた水や食糧の備蓄の程度について、「全くしていない」と回答した区民の割合が最も高く、36.7%となっています。次いで「2、3日分」の割合が32.7%となっています。

年代別に見ても、ほぼ同様の傾向となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
全くしていない	36.7	39.4	32.8	66.7	35.7	37.8	35.3
1日分	12.7	11.8	14.1	-	12.2	13.4	11.8
2、3日分	32.7	33.0	32.8	-	28.7	36.3	29.4
1週間分程度	12.2	11.3	13.6	-	12.2	10.0	17.6
1週間分以上1ヶ月分未満	3.2	2.3	4.5	-	5.2	1.0	5.9
1ヶ月分以上	2.5	2.3	2.3	33.3	6.1	1.5	-

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

**Q 8 大和川の氾濫が発生する可能性が予測される場合、大和川の柏原観測点の水位に基づき 5 段階の避難情報が発令されます。**

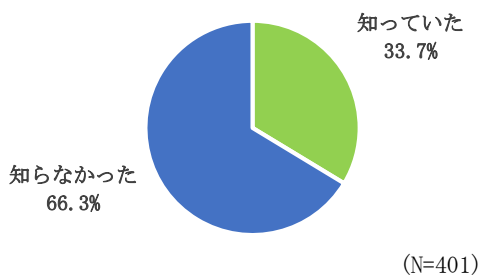
あなたは、以下の避難情報の意味を知っていましたか。(択一回答)

- ①警戒レベル 1【気象庁が発令】：大和川柏原観測点の水位が 1.5m
  - ・災害への心構えを高める。
- ②警戒レベル 2【気象庁が発令】：大和川柏原観測点の水位が 3.2m
  - ・避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。
- ③警戒レベル 3【大阪市が発令】：大和川柏原観測点の水位が 4.7m
  - ・災害が発生する可能性が予測され、避難行動に時間がかかる人は、避難行動を開始し、その他の人も避難準備を開始。
  - ・長居公園通以南の避難所（市立小中学校、阪南高等学校）を開設
- ④警戒レベル 4【大阪市が発令】：大和川柏原観測点の水位が 5.3m
  - ・災害が発生する可能性が明らかに高まった状況で、通常の避難行動ができる人も避難行動を開始。
  - ・避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難する。
  - ・③の避難所に加え、長居公園通以北の避難所（市立小中学校）を開設
- ⑤警戒レベル 5【大阪市が発令】：大和川柏原観測点の水位が 6.8m
  - ・災害が発生した状況で、すべての人は、命を守るための最善の行動をとる。

(注) ただし、上記の避難情報が発令されたとしても、お住まいの地域、場所の浸水想定や建物の状況により避難行動をとる必要がない場合があります。

大和川氾濫の可能性がある場合に発令される 5 段階の避難情報の意味について、「知っていた」と回答した区民の割合は 33.7%、「知らなかった」と回答した区民の割合は 66.3%となっています。

年代別に見ると、10～30 歳代、40・50 歳代の「知らなかった」と回答した割合が高く、それぞれ 68.7%、67.7%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数 (件)	401	221	177	3	115	201	85
知っていた	33.7	33.9	33.3	33.3	31.3	32.3	40.0
知らなかった	66.3	66.1	66.7	66.7	68.7	67.7	60.0

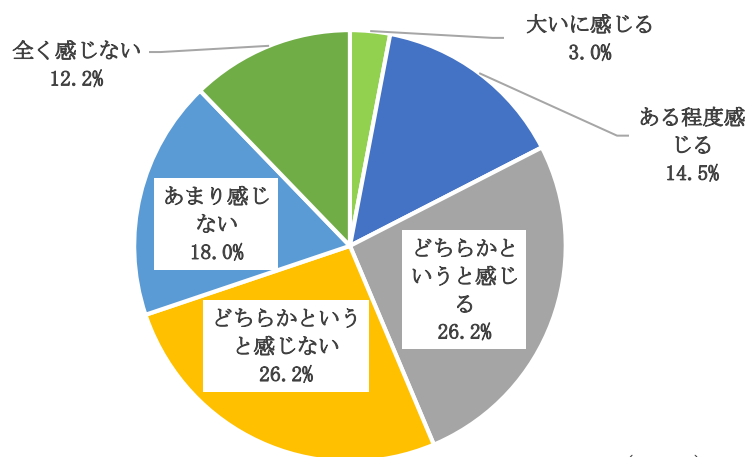
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。

### 3 地域活動について

Q9 マンションの増加や生活様式・価値観の多様化により、近所同士のつきあいが減少し、人と人とのつながりが希薄化しているなか、地域の安全安心の確保、子育てや高齢者への支援など多様な地域課題の解決にむけて、各地域では、防災訓練・盆踊り・子育てサロン・ふれあい喫茶などの様々な地域活動が行われています。また、これらの活動については、広報すみよしやホームページ、チラシ、ポスター等によりお知らせしているところです。お住まいの地域におけるこれら様々な地域活動に、あなたは、気軽に参加できると感じますか。(択一回答)

住まいの地域における様々な地域活動に気軽に参加できると「感じる」と回答した区民の割合は43.7%、「感じない」と回答した区民の割合が56.4%となっています。

年代別に見ると、40・50歳代の「感じる」と回答した割合が低く、40.8%となっています。



(N=401)

単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	3.0	2.7	3.4	-	4.3	2.5	2.4
ある程度感じる	14.5	13.6	15.8	-	17.4	13.9	11.8
どちらかというと感じる	26.2	27.1	25.4	-	25.2	24.4	31.8
どちらかというと感じない	26.2	24.9	26.6	100.0	25.2	26.9	25.9
あまり感じない	18.0	18.6	17.5	-	12.2	20.4	20.0
全く感じない	12.2	13.1	11.3	-	15.7	11.9	8.2
感じる 計	43.6	43.4	44.6	-	47.0	40.8	45.9
感じない 計	56.4	56.6	55.4	100.0	53.0	59.2	54.1

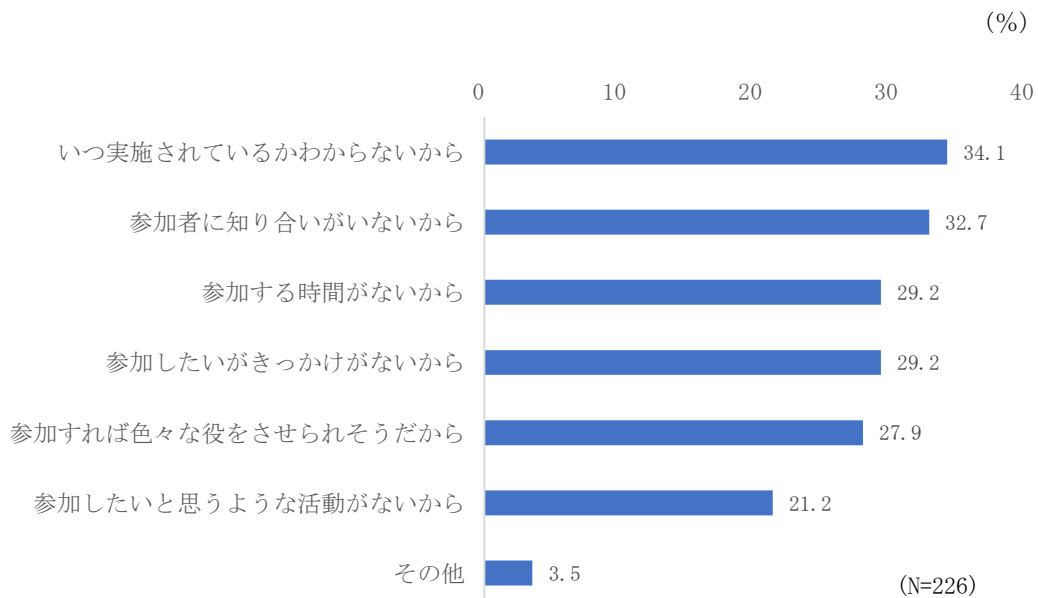
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q10 Q9で選択肢「どちらかというと感じない」「あまり感じない」または「全く感じない」を選択した方にお聞きします。

あなたが、お住まいの地域における様々な地域活動に、気軽に参加できると感じない理由は何ですか。(複数回答可)

住まいの地域における様々な地域活動に気軽に参加できない理由について、「いつ実施されているかわからないから」と回答した区民の割合が最も高く、34.1%となっています。次いで「参加者に知り合いがないから」の割合が32.7%となっています。

年代別に見ると、10～30歳代では「いつ実施されているかわからないから」、「参加者に知り合いがないから」、40・50歳代では「参加者に知り合いがないから」、60歳代以上では「参加すれば色々な役をさせられそうだから」と回答した割合が最も高く、それぞれ順に41.0%、41.0%、33.6%、39.1%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数 (件)	226	125	98	3	61	119	46
いつ実施されているかわからないから	34.1	33.6	34.7	33.3	41.0	31.1	32.6
参加者に知り合いがないから	32.7	28.0	39.8	-	41.0	33.6	19.6
参加する時間がないから	29.2	30.4	28.6	-	34.4	29.4	21.7
参加したいがきっかけがないから	29.2	24.0	17.3	33.3	27.9	30.3	28.3
参加すれば色々な役をさせられそうだから	27.9	28.0	30.6	33.3	21.3	26.9	39.1
参加したいと思うような活動がないから	21.2	33.6	19.4	66.7	21.3	21.0	21.7
その他	3.5	3.2	4.1	-	4.9	2.5	4.3

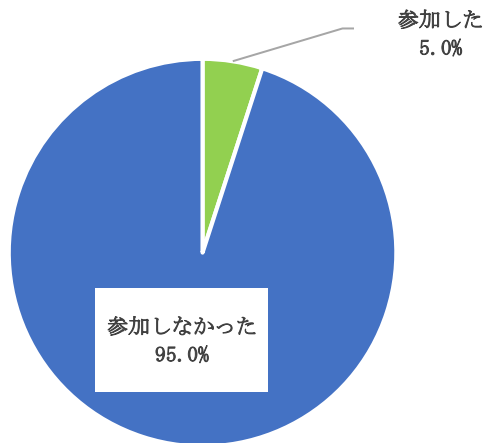
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q11 住吉区役所では、若い世代も含め、多くの住民が参加したくなる事業を実施するなど、新たな住民同士のつながりづくり促進のための場や機会の創出に取り組んでいます。

令和元年度に実施したつながりづくり促進のためのイベント(すみよし区民まつり、区子ども文化祭、区子どもマラソン大会、住吉スポーツフェスティバル、少年ソフトボール大会、住吉ソフトバレー・スリーアイズ大会、区ドッジボール大会、区民ハイキングなど)に、あなたは参加しましたか。(択一回答)

令和元年度に実施したつながりづくり促進のためのイベントに「参加した」と回答した区民の割合は5.0%、「参加しなかった」と回答した区民の割合は95.0%となっています。

年代別に見ても、ほぼ同様の傾向となっています。



(N=401)

単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
参加した	5.0	3.2	7.3	-	6.1	4.5	4.7
参加しなかった	95.0	96.8	92.7	100.0	93.9	95.5	95.3

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

## 4 地域福祉について

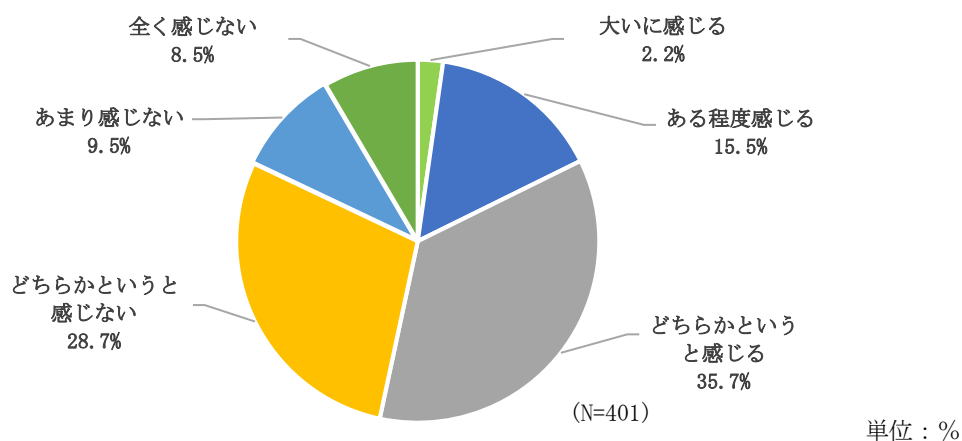
Q12 住吉区役所では、それぞれの地域で安心して暮らせるよう、行政が地域住民や社会福祉関係者と協力し、地域社会の福祉課題の解決に取り組むという地域福祉の理念を示した「住吉区地域福祉ビジョン」を平成29年5月に策定しました。

そして、「住吉区地域福祉ビジョン」に掲げた理念を実現していくための具体的な行動計画として、「住吉区地域福祉推進プラン」を平成30年5月に策定し、誰もが安心して暮らせるまちづくりへの取組を継続して進めています。

あなたは、住吉区が高齢者・障がい者をはじめ誰もが安心して暮らせるまちと感じますか。(択一回答)

住吉区が高齢者・障がい者をはじめ誰もが安心して暮らせるまちと「感じる」と回答した区民の割合は53.4%、「感じない」と回答した区民の割合は46.7%となっています。

年代別に見ると、60歳代以上の「感じる」と回答した割合が低く、48.2%となっています。



区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	2.2	1.8	2.8	-	3.5	2.5	-
ある程度感じる	15.5	13.1	18.6	-	17.4	14.9	14.1
どちらかというと感じる	35.7	34.4	36.7	66.7	32.2	38.3	34.1
どちらかというと感じない	28.7	30.8	26.6	-	26.1	27.9	34.1
あまり感じない	9.5	10.9	7.3	33.3	12.2	7.5	10.6
全く感じない	8.5	9.0	7.9	-	8.7	9.0	7.1

感じる 計	53.4	49.3	58.1	66.7	53.1	55.7	48.2
感じない 計	46.7	50.7	41.8	33.3	47.0	44.4	51.8

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。



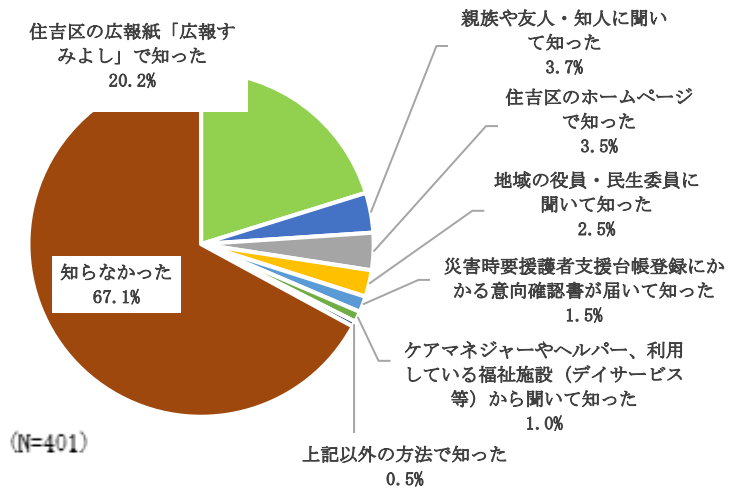
Q13 住吉区役所では、「地域見守り相談室」を区役所4階に設置し、災害時において支援が必要な方の登録に関する相談、日常的な支援が必要な高齢者や障がい者などの見守り相談、福祉や地域のネットワークづくりに関する相談、認知症高齢者等の行方不明時の早期発見に関する相談など、地域での見守りに関する相談を広くお受けしています。

あなたは、「地域見守り相談室」のことを知っていますか。

知っている方は、知った方法も合わせて教えてください。(択一回答)

「地域見守り相談室」のことを「知っていた」と回答した区民の割合は32.9%、「知らなかった」と回答した区民の割合は67.1%となっています。

知った方法は、「住吉区の広報紙（広報すみよし）」と回答した区民の割合が最も高く、20.2%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
住吉区の広報紙「広報すみよし」で知った	20.2	21.7	18.1	33.3	13.0	22.9	23.5
親族や友人・知人に聞いて知った	3.7	4.5	2.8	-	1.7	4.5	4.7
住吉区のホームページで知った	3.5	2.3	5.1	-	6.1	0.5	7.1
地域の役員・民生委員に聞いて知った	2.5	3.2	1.7	-	1.7	2.0	4.7
災害時要援護者支援台帳登録にかかる意向確認書が届いて知った	1.5	1.8	1.1	-	2.6	1.0	1.2
ケアマネジャーやヘルパー、利用している福祉施設（デイサービス等）から聞いて知った	1.0	0.9	1.1	-	1.7	1.0	-
上記以外の方法で知った	0.5	0.5	0.6	-	0.9	-	1.2
知らなかった	67.1	65.2	69.5	66.7	72.2	68.2	57.6

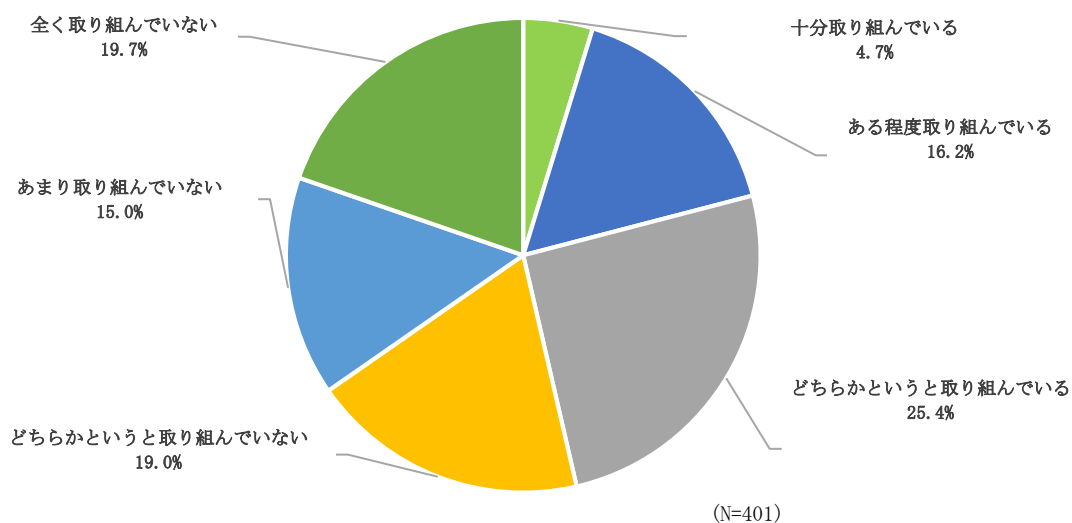
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

## 5 健康について

**Q14** 住吉区役所では、地域健康講座を開催し、健康づくり、食育の推進にかかる周知・啓発を行っているほか、各地域でのいきいき百歳体操の実施を支援しています。  
あなたは、運動や食事など健康を意識して何らかの健康づくりに取り組んでいますか。(択一回答)

健康を意識して何らかの健康づくりに「取り組んでいる」と回答した区民の割合は46.3%、「取り組んでいない」と回答した区民の割合が53.7%となっています。

年代別に見ると、高い年代ほど「取り組んでいる」と回答した割合が高くなっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
十分取り組んでいる	4.7	3.2	6.2	33.3	6.1	4.5	3.5
ある程度取り組んでいる	16.2	17.2	15.3	-	13.0	14.4	24.7
どちらかというに取り組んでいる	25.4	23.5	28.2	-	24.3	25.4	27.1
どちらかというに取り組んでいない	19.0	19.5	17.5	66.7	19.1	20.4	15.3
あまり取り組んでいない	15.0	15.8	14.1	-	15.7	13.4	17.6
全く取り組んでいない	19.7	20.8	18.6	-	21.7	21.9	11.8
取り組んでいる 計	46.3	43.9	49.7	33.3	43.5	44.3	55.3
取り組んでない 計	53.7	56.1	50.3	66.7	56.5	55.7	44.7

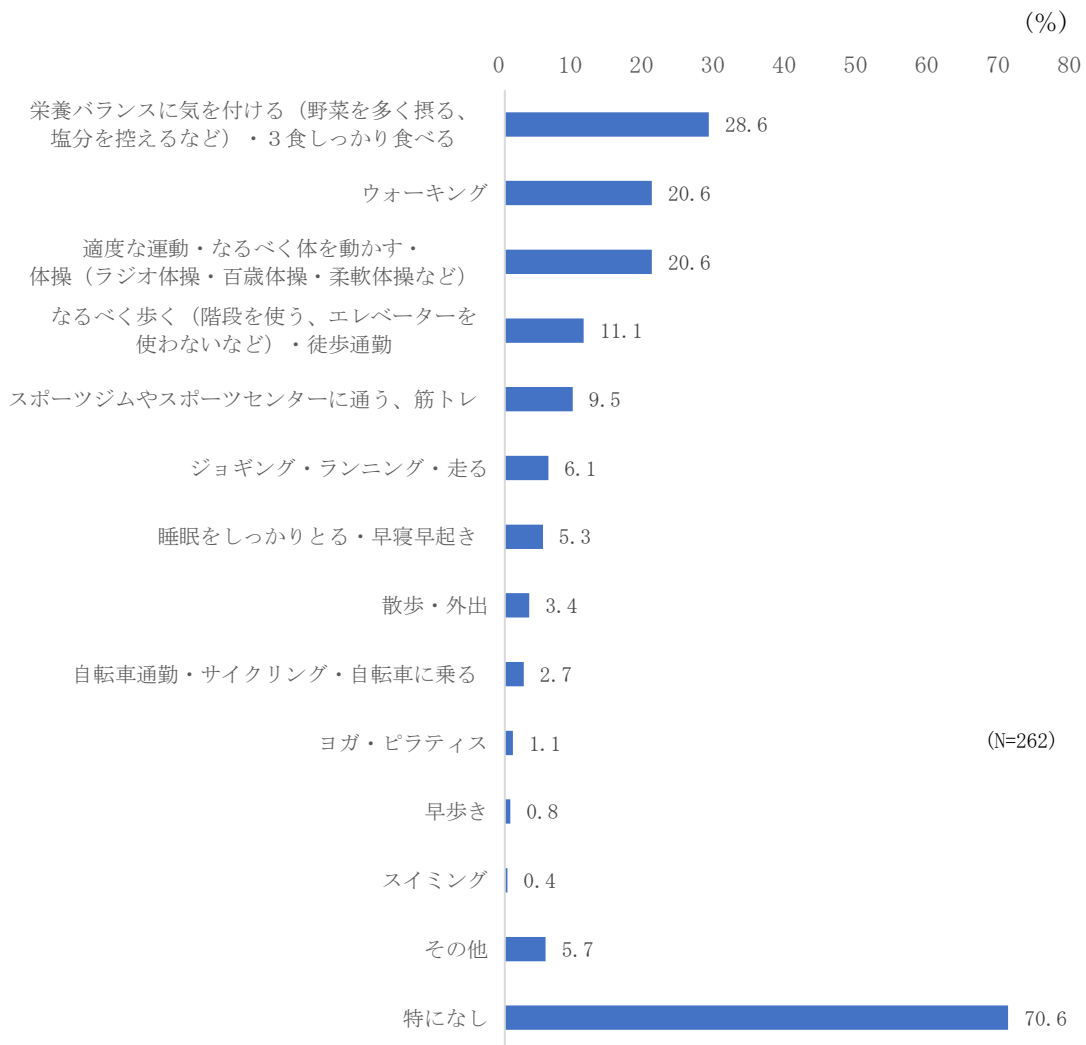
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q15 (Q14で選択肢「十分取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」、「どちらかというに取り組んでいる」または「どちらかというに取り組んでいない」を選んだ方にお聞きします。)

健康づくりとしては、いきいき百歳体操やウォーキングといった運動や、日々の食事に関する取組などが考えられます。

あなたは、具体的に、どのような健康づくりに取り組んでいますか。(自由記述)

健康づくりのための取組について、「栄養バランスに気を付ける・3食しっかり食べる」と回答した区民の割合が最も高く、28.6%となっています。次いで「ウォーキング」と「適度な運動・なるべく体を動かす・体操」が同率で20.6%となっています。



単位：％

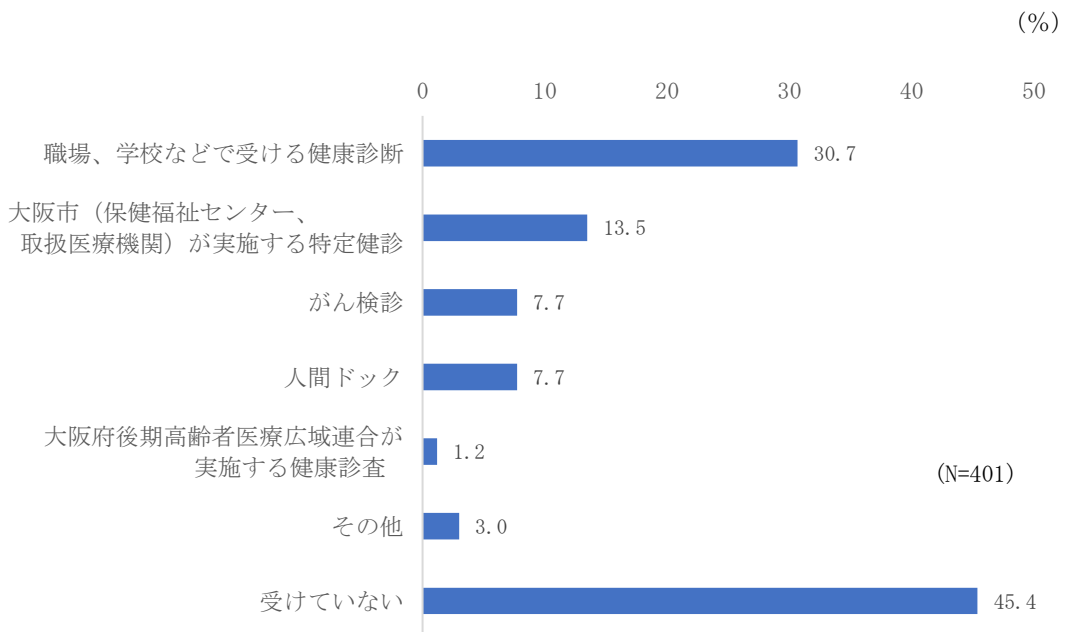
区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	262	140	119	3	72	130	60
栄養バランスに気を付ける（野菜を多く摂る、塩分を控えるなど）・3食しっかり食べる	28.6	17.1	42.9	-	37.5	26.2	23.3
ウォーキング	20.6	25.0	16.0	-	13.9	20.0	30.0
適度な運動・なるべく体を動かす・体操（ラジオ体操・百歳体操・柔軟体操など）	20.6	19.3	22.7	-	20.8	16.9	28.3
なるべく歩く（階段を使う、エレベーターを使わないなど）・徒歩通勤	11.0	11.4	10.9	-	5.6	14.6	10.0
スポーツジムやスポーツセンターに通う、筋トレ	9.5	11.4	7.6	-	4.2	10.0	15.0
ジョギング・ランニング・走る	6.1	8.6	3.4	-	4.2	6.2	8.3
睡眠をしっかりとり・早寝早起き	5.3	5.7	5.0	-	5.6	7.7	-
散歩・外出	3.4	2.1	4.2	33.3	5.6	2.3	3.3
自転車通勤・サイクリング・自転車に乗る	2.7	4.3	0.8	-	2.8	2.3	3.3
ヨガ・ピラティス	1.1	-	2.5	-	1.4	1.5	-
早歩き	0.8	-	1.7	-	-	0.8	1.7
スイミング	0.4	-	0.8	-	-	0.8	-
その他	5.7	7.1	3.4	33.3	8.3	3.8	6.7
特になし	70.6	79.3	60.5	66.7	80.6	71.5	56.7

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q16 あなたが、病気の予防や早期発見のためにこの1年間に受けた健康診断等を選んでください。(ただし、病気の治療や経過観察のための健康診断等は除く。)(複数回答可)

この1年間に受けた健康診断等について、「職場、学校などで受ける健康診断」と回答した区民の割合が最も高く、30.7%となっています。次いで「大阪市(保健福祉センター、取扱医療機関)が実施する特定健診」の割合が13.5%となっています。

年代が低いほど、「受けていない」と回答した割合が高くなっています。



単位：%

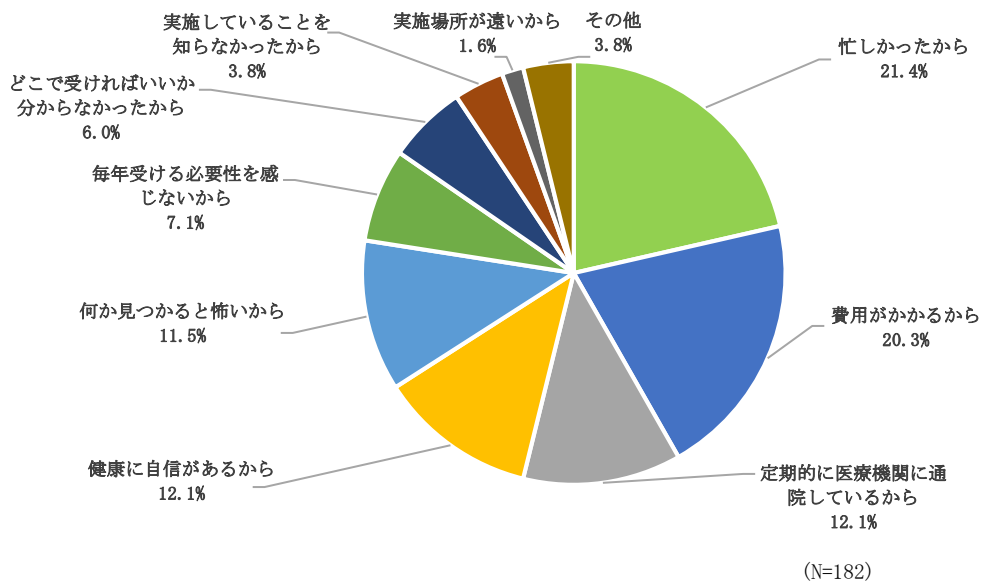
区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10〜30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
職場、学校などで受ける健康診断	30.7	33.5	27.7	-	37.4	34.3	12.9
大阪市(保健福祉センター、取扱医療機関)が実施する特定健診	13.5	16.3	10.2	-	6.1	10.0	31.8
がん検診	7.7	5.4	10.7	-	6.1	7.0	11.8
人間ドック	7.7	9.5	5.6	-	4.3	8.0	11.8
大阪府後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査	1.2	2.3	-	-	1.7	-	3.5
その他	3.0	3.6	2.3	-	0.9	2.0	8.2
受けていない	45.4	40.7	50.3	100.0	50.4	45.3	38.8

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q17 Q16で、選択肢「受けていない」を選択した方にお聞きします。  
あなたが、健康診断等を受診しない理由を選んでください。(択一回答)

健康診断を受診しない理由について、「忙しかったから」と回答した区民の割合が最も高く、21.4%となっています。次いで「費用がかかるから」の割合が20.3%となっています。

年代別に見ると、10～30歳代では「費用がかかるから」、40・50歳代では「忙しかったから」、60歳代以上では「定期的に医療機関に通院しているから」の割合が最も高く、それぞれ順に25.9%、25.3%、27.3%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数(件)	182	90	89	3	58	91	33
忙しかったから	21.4	24.4	19.1	-	20.7	25.3	12.1
費用がかかるから	20.3	15.6	25.8	-	25.9	19.8	12.1
定期的に医療機関に通院しているから	12.1	14.4	9.0	33.3	5.2	11.0	27.3
健康に自信があるから	12.1	12.2	11.2	33.3	15.5	9.9	12.1
何か見つかるのが怖いから	11.5	10.0	12.4	33.3	10.3	12.1	12.1
毎年受ける必要性を感じないから	7.1	5.6	9.0	-	8.6	6.6	6.1
どこで受ければいいかわからなかったから	6.0	5.6	6.7	-	6.9	7.7	-
実施していることを知らなかったから	3.8	7.8	-	-	3.4	4.4	3.0
実施場所が遠いから	1.6	1.1	2.2	-	-	1.1	6.1
その他	3.8	3.3	4.5	-	3.4	2.2	9.1

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

## 6 子育て及び虐待防止に関する施策について

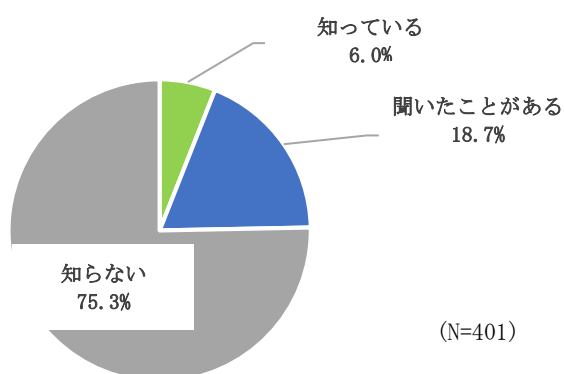
Q18 住吉区役所では、就学前（主に3歳まで）の子どもの子育てに関する相談窓口として、「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」を平成30年4月に開設しました。

「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」では、子育て支援コーディネーター（保育士、助産師）・保健師が、妊娠期の過ごし方、出産、母乳、子どもの発達に関すること、子育て支援センターや保育所（園）の利用などについて、協働して相談に応じるとともに、令和元年度には保健師から初産婦への電話による支援や、「両親学級」等の新たな教室の立ち上げなど、更なる充実を図ったところです。

あなたは、「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」を知っていますか。（択一回答）

「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」を「知っている」と回答した区民の割合は24.7%、「知らない」と回答した区民の割合は75.3%となっています。

特に、就学前の子どもがいる区民の回答を見ると、「知っている」割合は56.7%となっており、全体より高くなっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
知っている	6.0	5.0	6.8	33.3	12.2	2.5	5.9
聞いたことがある	18.7	16.7	21.5	-	20.0	17.4	20.0
知らない	75.3	78.3	71.8	66.7	67.8	80.1	74.1

知っている	24.7	21.7	28.3	33.3	32.2	19.9	25.9
知らない	75.3	78.3	71.8	66.7	67.8	80.1	74.1

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

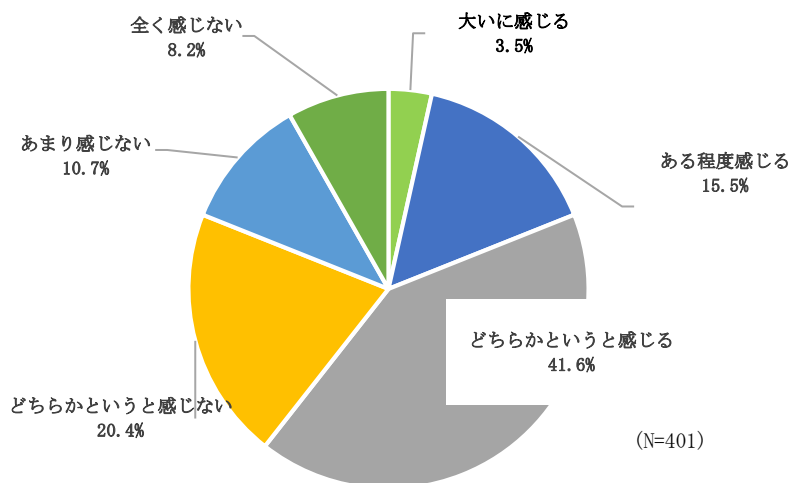
Q19 住吉区役所では、安心して子育てができるよう、子育て相談室の設置や地域が開催する子育てサロンの支援などに取り組んでいます。

また、Q18 記載のとおり、「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」の取組を充実するとともに、地域をあげてまちぐるみでこども・子育て世帯の安全・安心を見守る体制を構築したところです。

あなたは、住吉区では安心して子育てができると感じますか。

住吉区では安心して子育てができると「感じる」と回答した区民の割合は 60.6%、「感じない」と回答した区民の割合は 39.4%となっています。

年代別に見ると、40・50 歳代の「感じる」と回答した割合が高く、62.7%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数 (件)	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	3.5	3.2	4.0	-	5.2	3.5	1.2
ある程度感じる	15.5	11.8	20.3	-	17.4	13.9	16.5
どちらかというと感じる	41.6	43.0	40.1	33.3	38.3	45.3	37.6
どちらかというと感じない	20.4	21.7	19.2	-	16.5	20.4	25.9
あまり感じない	10.7	12.2	8.5	33.3	11.3	9.5	12.9
全く感じない	8.2	8.1	7.9	33.3	11.3	7.5	5.9
感じる 計	60.6	58.0	64.4	33.3	60.9	62.7	55.3
感じない 計	39.4	42.0	35.6	66.6	39.1	37.3	44.7

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。

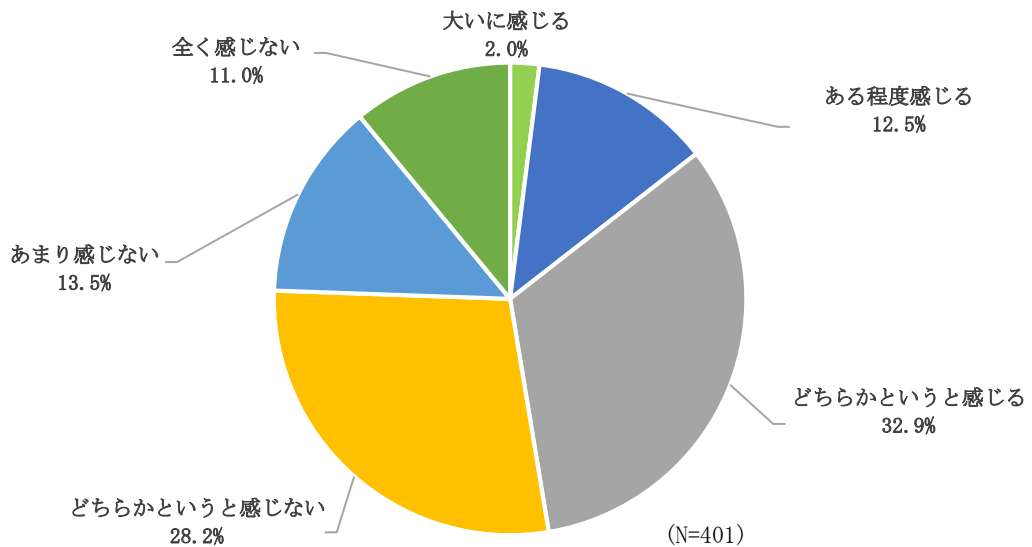


Q20 住吉区役所では、子育て応援マップやすみちゃん子育てネットの発行、ライン（LINE）やWEB版はぐあっぷ（区ホームページの子育て支援サイト）の開設、すみちゃん子育て情報フェアの開催などを通じて、子育て情報の発信に取り組んでいます。

あなたは、子育て世帯が、子育て支援情報を得ることができていると感じますか。（択一回答）

子育て世帯が、子育て支援情報を得ることができていると「感じる」と回答した区民の割合は47.4%、「感じない」と回答した区民の割合は52.6%となっています。

特に、就学前の子どもがいる区民の回答を見ると、「感じる」割合は50.0%となっており、全体とほぼ同様の傾向となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数（件）	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	2.0	1.8	2.3	-	4.3	1.5	-
ある程度感じる	12.5	8.6	17.5	-	13.0	10.0	17.6
どちらかというと感じる	32.9	32.6	33.3	33.3	33.0	34.8	28.2
どちらかというと感じない	28.2	29.4	26.0	66.7	22.6	29.4	32.9
あまり感じない	13.5	15.8	10.7	-	13.9	12.9	14.1
全く感じない	11.0	11.8	10.2	-	13.0	11.4	7.1

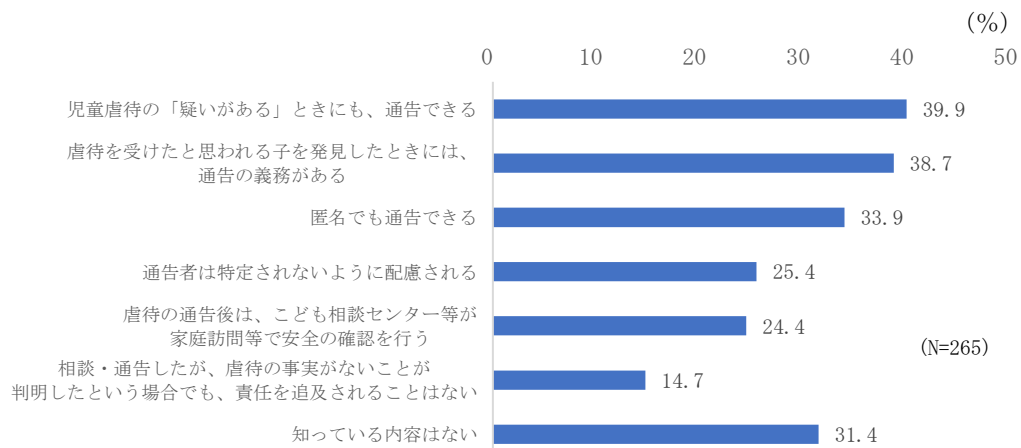
感じる 計	47.4	43.0	53.1	33.3	50.4	46.3	45.9
感じない 計	52.6	57.0	46.9	66.7	49.6	53.7	54.1

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q21 大阪市では、平成30年度に設置した大阪市児童虐待防止体制強化会議での議論を踏まえて決定した方針を継承するとともに、今年度4月に就任した市長のもと、児童虐待防止対策をさらに強化し、重大な児童虐待（死亡や後遺症が残る等生命の危険にかかわる重傷事案）の発生ゼロをめざしています。  
 あなたが、児童虐待の通告について知っている内容を、すべてお選びください。  
 （複数回答可）

児童虐待の通告について知っている内容として、「児童虐待の疑いがあるときにも、通告できる」と回答した区民の割合が最も高く、39.9%となっています。次いで「虐待を受けたと思われる子を発見したときには、通告の義務がある」の割合が38.7%となっています。

年代別に見ると、10～30歳代、40・50歳代の「知っている内容はない」と回答した割合が高く、それぞれ35.7%、33.3%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数（件）	265	221	177	3	115	201	85
児童虐待の「疑いがある」ときにも、通告できる	39.9	36.2	44.1	66.7	37.4	36.8	50.6
虐待を受けたと思われる子を発見したときには、通告の義務がある	38.7	36.2	41.2	66.7	36.5	37.3	44.7
匿名でも通告できる	33.9	30.3	38.4	33.3	33.0	34.3	34.1
通告者は特定されないように配慮される	25.4	22.2	29.4	33.3	29.6	22.4	27.1
虐待の通告後は、こども相談センター等が家庭訪問等で安全の確認を行う	24.4	24.0	24.9	33.3	24.3	20.4	34.1
相談・通告したが、虐待の事実がないことが判明したという場合でも、責任を追及されることはない	14.7	11.8	18.1	33.3	14.8	12.9	18.8
知っている内容はない	31.4	34.8	27.1	33.3	35.7	33.3	21.2

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

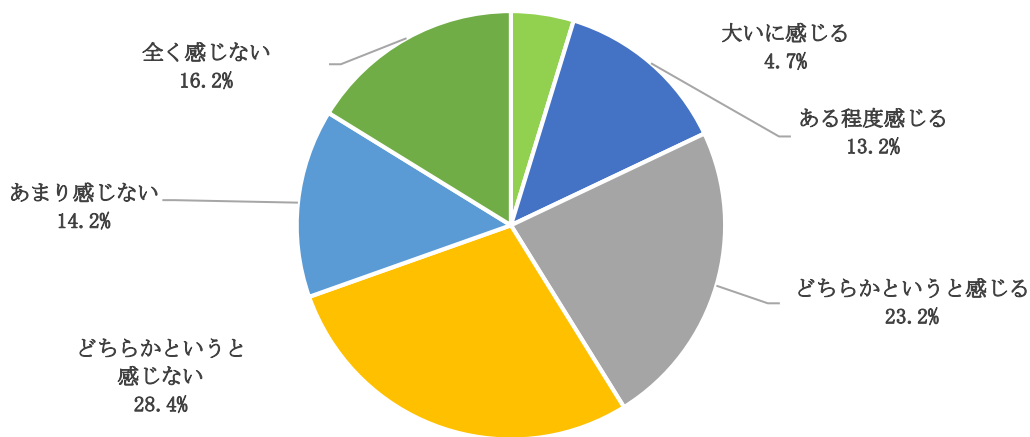
## 7 徳育について

Q22 住吉区では、平成 29 年 4 月から、人と人のかかわりを大切にする人材の育成を図り、“あいさつの声があふれる活気あるまち”になることをめざして、家庭・学校・地域・区役所が連携し、大人も子どもも自分から進んであいさつをする運動を進めています。

あなたは、住吉区の学校園、地域などであいさつが活発に交わされていると感じますか。(択一回答)

住吉区の学校園、地域などであいさつが活発に交わされていると「感じる」と回答した区民の割合は 41.1%、「感じない」と回答した区民の割合は 58.9%となっています。

年代別に見ると、若い年代ほど「感じる」と回答した区民の割合が高くなっています。



(N=401)

単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
大いに感じる	4.7	4.1	5.6	-	9.6	3.0	2.4
ある程度感じる	13.2	10.0	16.9	33.3	15.7	11.4	14.1
どちらかというと感じる	23.2	19.9	27.1	33.3	24.3	25.4	16.5
どちらかというと感じない	28.4	31.7	24.3	33.3	18.3	30.8	36.5
あまり感じない	14.2	16.7	11.3	-	12.2	14.4	16.5
全く感じない	16.2	17.6	14.7	-	20.0	14.9	14.1

感じる 計	41.1	33.9	49.7	66.6	49.6	39.8	32.9
感じない 計	58.9	66.1	50.3	33.3	50.4	60.2	67.1

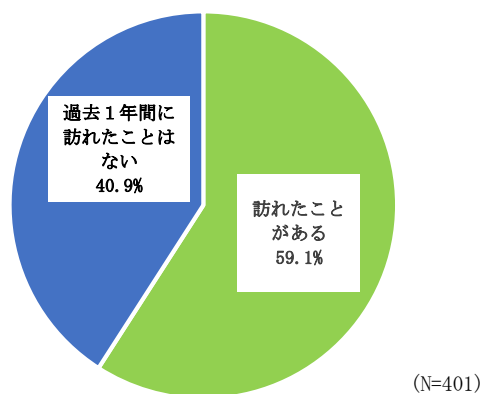
※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。

## 8 区政運営について

**Q23 あなたは、過去1年間に、住吉区役所を訪れたことがありますか。(択一回答)**

過去1年間に、住吉区役所を「訪れたことがある」と回答した区民の割合は59.1%、「訪れたことはない」と回答した区民の割合は40.9%となっています。

年代別に見ると、若い年代ほど「訪れたことがある」の割合が低くなっています。



単位：%

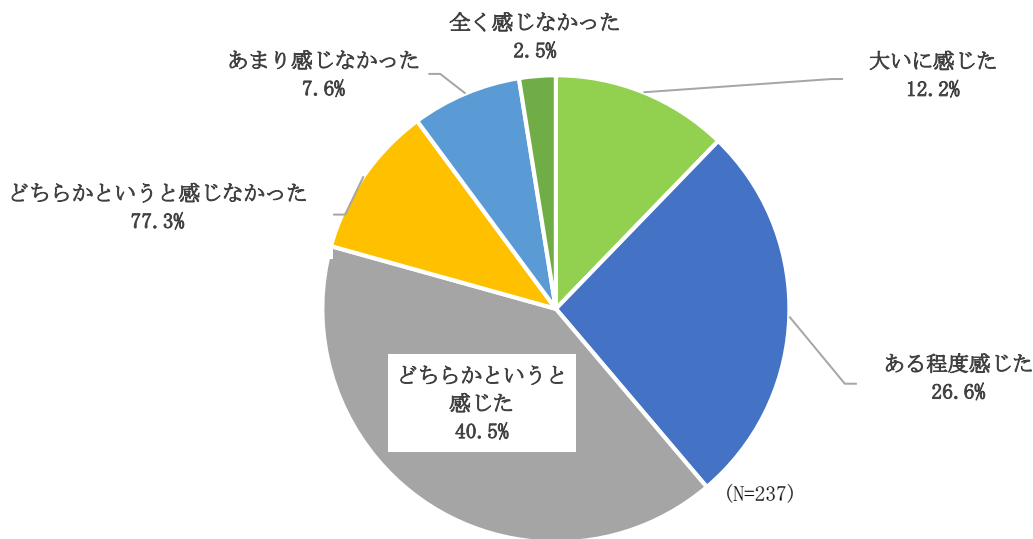
区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	401	221	177	3	115	201	85
訪れたことがある	59.1	53.8	66.1	33.3	51.3	60.2	67.1
過去1年間に訪れたことはない	40.9	46.2	33.9	66.7	48.7	39.8	32.9

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q24 Q23 で、選択肢「訪れたことがある」を選択した方にお聞きします。  
 住吉区役所では、職員の窓口対応能力を高めるため、毎年、専門家による接遇研修を実施するなど、快適な区役所づくりに向けた取組を行っています。  
 あなたは、この1年間で住吉区役所に来庁された際、身だしなみや挨拶・表情、言葉遣い、わかりやすい説明など、職員の窓口での接客は適切であったと感じましたか。(択一回答)

この1年間に住吉区役所に来庁された際、職員の窓口での接客が適切であったと「感じた」と回答した区民の割合は79.3%、「感じなかった」と回答した区民の割合は20.7%となっています。

年代別に見ると、60歳代以上の「感じた」と回答した割合が高く、84.2%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10～30歳代	40・50歳代	60歳代以上
有効回答数(件)	237	119	117	1	59	121	57
大いに感じた	12.2	10.9	13.7	-	16.9	9.1	14.0
ある程度感じた	26.6	26.9	26.5	-	13.6	31.4	29.8
どちらかというと感じた	40.5	40.3	41.0	-	50.8	35.5	40.4
どちらかというと感じなかった	10.5	8.4	12.0	100.0	13.6	9.1	10.5
あまり感じなかった	7.6	10.1	5.1	-	3.4	12.4	1.8
全く感じなかった	2.5	3.4	1.7	-	1.7	2.5	3.5

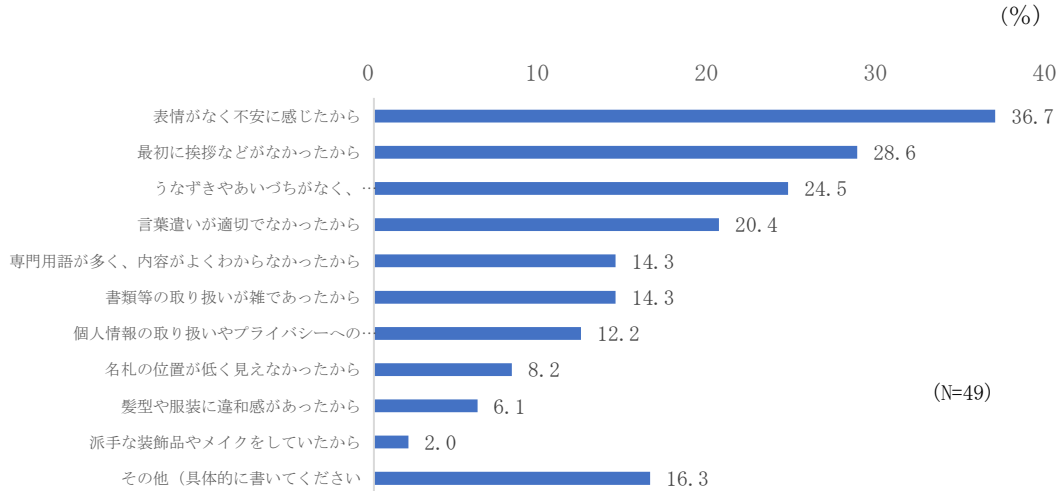
感じた 計	79.3	78.2	81.2	-	81.4	76.0	84.2
感じない 計	20.7	21.8	18.8	100.0	18.6	24.0	15.8

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

Q25 Q24で、選択肢「どちらかというと感じなかった」、「あまり感じなかった」または「全く感じなかった」を選択した方にお聞きします。

あなたが、職員の窓口での接客は適切であったと感じない理由は何ですか。(複数回答可)

職員の窓口での接客が適切だったと感じなかった理由について、「表情がなく不安に感じたから」と回答した区民の割合が最も高く、36.7%となっています。次いで「最初に挨拶などがなかったから」の割合が28.6%となっています。



単位：%

区分	全体	性別			年代別		
		男性	女性	その他	10 ～ 30 歳代	40 ・ 50 歳代	60 歳代 以上
有効回答数(件)	49	26	22	1	11	29	9
表情がなく不安に感じたから	36.7	26.9	50.0	-	45.5	27.6	55.6
最初に挨拶などがなかったから	28.6	30.8	27.3	-	18.2	24.1	55.6
うなずきやあいづちがなく、話を聞いてもらっているか不安であったから	24.5	23.1	27.3	-	27.3	20.7	33.3
言葉遣いが適切でなかったから	20.4	23.1	13.6	100.0	36.4	17.2	11.1
専門用語が多く、内容がよくわからなかったから	14.3	19.2	9.1	-	9.1	13.8	22.2
書類等の取り扱いが雑であったから	14.3	15.4	13.6	-	18.2	13.8	11.1
個人情報の取り扱いやプライバシーへの配慮に不安を感じたから	12.2	11.5	13.6	-	18.2	13.8	-
名札の位置が低く見えなかったから	8.2	3.8	13.6	-	9.1	10.3	-
髪型や服装に違和感があったから	6.1	7.7	4.5	-	9.1	6.9	-
派手な装飾品やメイクをしていたから	2.0	-	4.5	-	-	3.4	-
その他	16.3	11.5	22.7	-	9.1	17.2	22.2

※各選択の比率は、小数点第二位を四捨五入しています。そのため、内訳の合計が100%にならない場合があります。